

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	26220801	研究期間	平成26年度～平成30年度
研究課題名	機能性ナノ構造体の界面配位合成と化学素子の創製	研究代表者 (所属・職) (平成29年3月現在)	西原 寛 (東京大学・大学院理学系研究科・教授)

【平成29年度 研究進捗評価結果】

評価		評価基準
○	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究の目的は、金属錯体の配位プログラミング法を発展させ、新規分子ネットワークを創製して、先駆的な化学素子を開発し、デバイス展開に挑戦するという意欲的なものである。金属錯体ナノワイヤーやナノシートなどの新物質合成や、蛍光性金属錯体ラジカルなどのユニークな機能性化合物の研究も進んでいる。これらの成果は高く評価できる。今後、これらの材料の有用性をデバイス展開して、実証することが望まれる。また、その方向に向けて、研究組織内のネットワークの強化が望まれる。</p>		